



Children's rights share project
子どもの権利シェアプロジェクト

参加費
無料

シンポジウム

〈叱る依存〉に おちいらないために

会場定員 100名・Zoom定員500名

子どもNPOセンター福岡では、2021年度から公益財団法人日本財団の助成により「子どもの権利シェアプロジェクト」として、子どもの権利を職場や地域で共有するインフルエンサーの養成に取り組んでいます。2022年、国では「こども家庭庁」を設置して政策の充実を目指すほか、子どもの権利を定めた「こども基本法」を制定しました。これを機に子どもの権利への理解を一層広めるため、書籍「〈叱る依存〉がとまらない」（紀伊國屋書店）の著者をお招きしたシンポジウムを開催し、人とのよりよい関係づくりを考えます。

2022年

7/24(日)

13:00-17:00

会場 あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル8階
中洲川端駅6番出口より徒歩すぐ
(定員 100名)

もしくは Zoomウェビナー
(定員 500名)

第1部

講演

〈叱る依存〉におちいらないために

講師 臨床心理士 公認心理師 村中直人氏

第2部

トークセッション

〈叱る依存〉と子どもの権利

パネリスト 村中直人氏
福岡県内在住の中学生・高校生

モデレーター 重永侑紀
(子どもNPOセンター福岡 代表理事)

お問い合わせ・お申し込み先

特定非営利活動法人 NPO Center for children Fukuoka

子どもNPOセンター福岡

【TEL】 050-1743-5971 【FAX】 050-3512-4545
【mail】 info@npoccf.jp 【Web】 <https://npoccf.jp>

講師 PROFILE



臨床心理士 公認心理師

村中 直人氏

MURANAKA NAOTO

Neurodiversity at Work 株式会社 代表取締役

一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 共同代表

日本ニューロダイバーシティ研究会 発起人

人の神経学的な多様性に着目し、脳・神経由来の異文化相互理解の促進、および働き方学びかたの多様性が尊重される社会の実現を目指して活動。2008年から多様なニーズのある子どもたちが学び方を学ぶための学習支援事業「あすはな先生」の立ち上げと運営に携わり、「発達障害サポーター's スクール」での支援者育成にも力を入れている。現在は企業向けに日本型ニューロダイバーシティ実践のサポートを積極的に行っている。

主な著書

『ニューロダイバーシティの教科書』（金子書房）『く叱る依存』がとまらない』（紀伊國屋書店）

『ラーニングダイバーシティの夜明け』そだちの科学（日本評論社）にて連載

「子どもの権利シェアプロジェクト」とは

子どもの権利を子どもたちがうまく安全に使えるように、おとな側の文化を作っていくことを目指します。特に子どもの「意見表明権」の活用を、子育てと子育て支援の共通認識にすることで、市民とさまざまな分野の子ども支援が効果的に協働する下地をつくります。



参加申込方法

● 専用申込フォームから（推奨）

右のQRコードを読み取ると、参加申込みフォームが表示されます。そちらから情報を入力・送信ください。または、子どもNPOセンター福岡のWebサイトからお申込可能です。

申込フォームQRコード

※子どもNPOセンター福岡のHPからお申込みできます。



● 申込フォームからのお申込が出来ない場合

info@npoccf.jpまで、メールにて以下の必要事項をお送りください。または、下の欄にご記入の上FAXでもお申込いただけますが、メールアドレスの転記ミス等防止のため、可能な限りメールでのお申込をおすすめいたします。

(ふりがな)

お名前

ご住所 〒

TEL /

E-mail

所属

参加方法

会場 ・ オンライン(Zoom)

お問い合わせ
お申し込み先

特定非営利活動法人 NPO Center for children Fukuoka

子どもNPOセンター福岡

【TEL】050-1743-5971

【FAX】050-3512-4545

【mail】info@npoccf.jp

【Web】https://npoccf.jp